

令和5年9月20日  
九州地方整備局  
福岡国道事務所

## 国道3号博多バイパス 開通から5年後の交通状況と整備効果について

去る平成30年3月17日（土）に全線開通した博多バイパスの開通から5年後の交通状況及び整備効果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 【交通状況】

博多バイパスへ交通の転換が進み、国道3号現道の交通量が減少しています。

	開通前 (台/12h)	開通5年後 (台/12h)	開通前後 変化量
国道3号現道	52,200	35,900	△16,300 (31%減)
博多バイパス	-	21,500	21,500 (増)

※開通前：H30.3.6（火）、開通5年後：R4.10.5（水）の12時間交通量

※国道3号現道：バイパス北出口～産大前交差点間 博多バイパス：バイパス北出口～石坂池交差点間

### 【整備効果】

- 効果①：交通渋滞の緩和  
国道3号現道の交通が分散され、主要渋滞箇所（3箇所）が解消し、交通渋滞が緩和。
- 効果②：交通安全性の確保  
通学路である県道（博多バイパスに並行する道路）への流入交通量減少により、交通事故件数が減少し安全性が向上。
- 効果③：地域産業の支援  
博多バイパスを利用することで、福岡空港への所要時間短縮が図られアクセス性が向上し、地域産業を支援。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所（TEL:092-681-4731(代表)）

技術副所長 城戸 康介（きどやすのぶ）

計画課長 木場 和俊（こばかずとし）

E-mail: fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

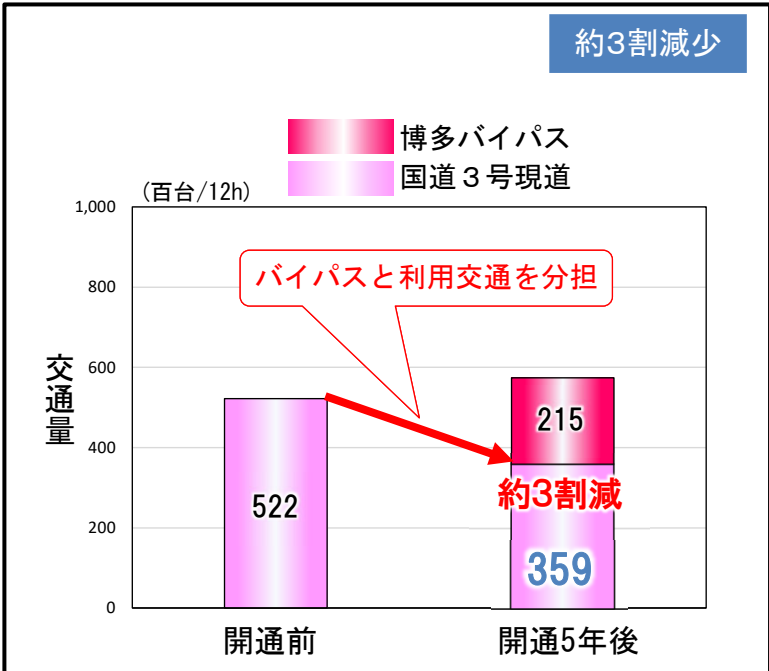
# 効果①

# 交通渋滞の緩和

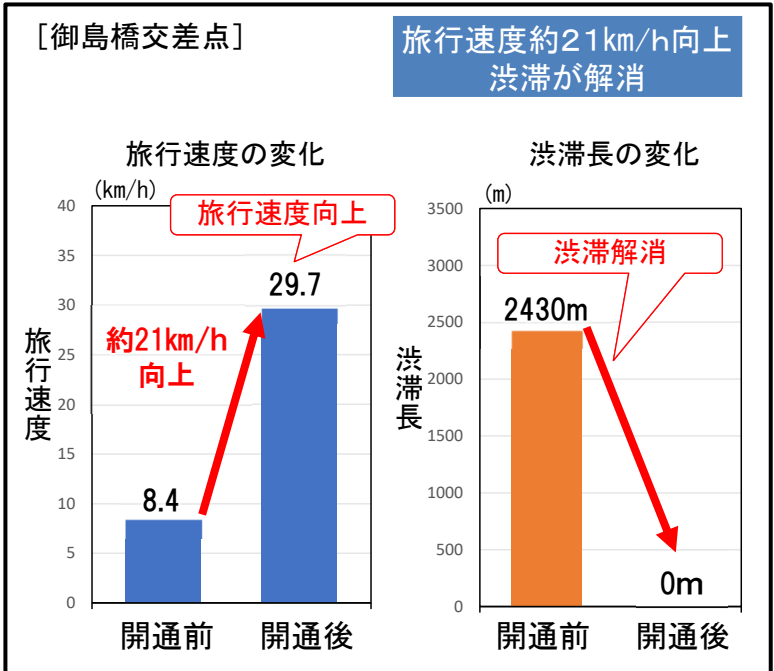
- 全線開通から5年が経過し、開通区間の交通量は約2.2万台／12h。
- 博多バイパスの開通により国道3号現道の交通が分散され、交通量が3割減少。
- 国道3号現道の主要渋滞箇所(3箇所)が解消。



## 約3割が博多バイパスに転換



## 主要渋滞箇所が解消

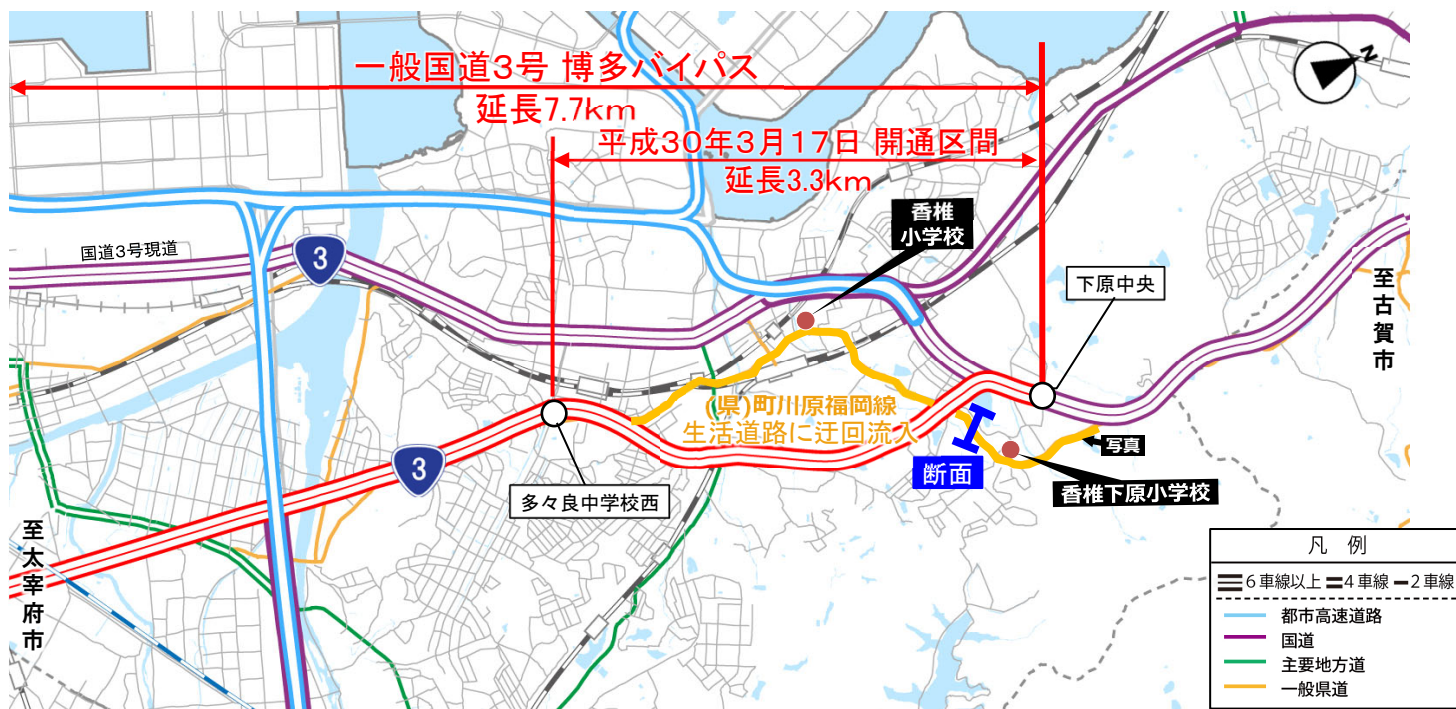


データ: 交通量調査結果  
(開通前: H30.3.6(火) 開通5年後: R4.10.5(水))

※旅行速度  
データ: 開通前: プローブデータ(H24.4~H24.8)  
開通後: ETC2.0プローブデータ(R4.4~R4.8)  
平日午前混雑時(7時~9時平均)下り方向

※渋滞長さ  
データ: 渋滞長さ調査結果(開通前: H30.3.6(火) 開通後: R4.10.5(水))  
平日午前(7時台~9時台)下り方向における最大渋滞長さ

- 国道3号現道の渋滞により、当該地区では迂回交通が県道町川原福岡線に流入。
- 通学路である県道町川原福岡線は、歩道未設置区間が存在し、安全性が低下。
- 博多バイパスの整備により、迂回交通が排除され、通学児童の安全性が向上。



▲ 迂回利用されるルート(県道町川原福岡線)

迂回交通の排除による  
安全性の向上

開通前



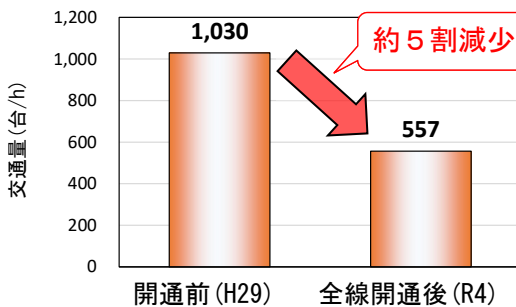
歩道が設置されていない区間において  
迂回交通が流入し通学路の安全性が低下

開通後



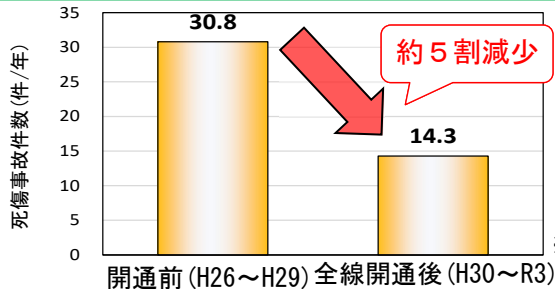
迂回交通が排除され通学路の安全性が向上

通学路である県道利用交通量が5割減少



資料:交通量調査結果  
開通前:H30.3.6  
全線開通後:R4.10.5  
※朝ピーク時(7時~8時)

利用交通量減少に伴い県道の事故件数が5割減少



資料:交通事故統合データベース(H26~R3)  
※全事故類型を対象

・全線開通前は、県道町川原福岡線への迂回交通が増加して交通量が増え、通学時等の安全性が心配であった。博多バイパスの開通後は流入交通量が減っており、以前と比べて通学時の安全性が向上していると思います。  
(香椎下原小学校ヒアリング R4.10)

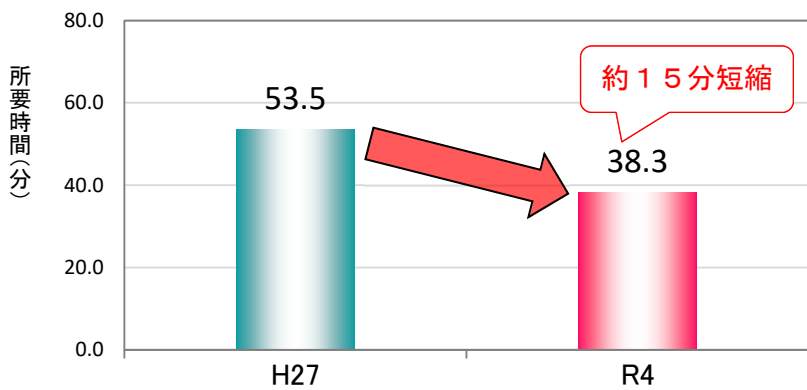


- 福岡県は全国2位の「いちご」の産地であり、福岡空港は輸出量全国2位。
- 福岡空港から輸出する際は、JA粕屋などから博多バイパスを経由して輸送。
- 博多バイパスの整備により、集荷場から福岡空港までの所要時間が短縮。
- 空港への輸送時における到着遅れの回避など、地域産業の支援に貢献。



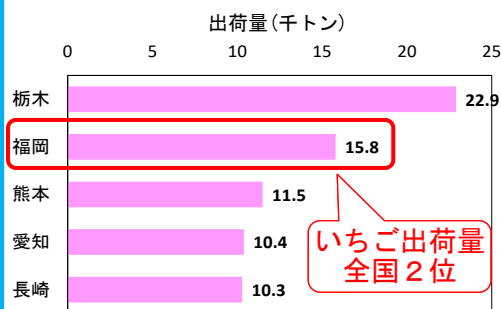
▲ JA粕屋からのいちごの輸送ルート

福岡空港への所要時間短縮



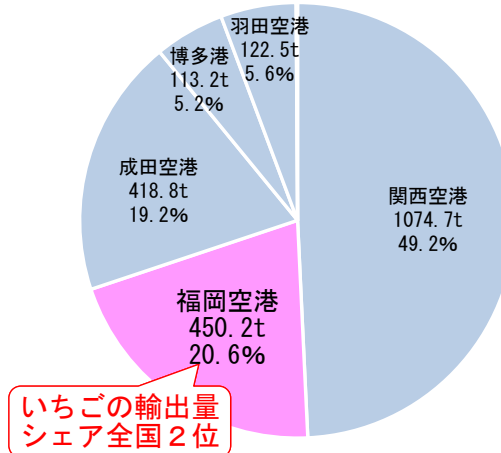
※JA粕屋集荷場(町川原交差点)～福岡空港(空港口交差点)  
 資料: H27: 道路交通センサ 混雑時混雑方向旅行速度  
 R4 : ETC2.0プローブデータ(R4.4.1～R5.3.31)  
 平日午後混雑時(17～18時台平均)下り方向

いちごの出荷量全国2位



資料: 令和3年産野菜生産出荷統計

いちごの輸出量全国2位



▲ 空港・港別輸出量  
 資料: 貿易統計R4(1～12月)

- ・JA粕屋からのいちごの取扱量(輸出量)は順調に伸びています。
- ・開通前は渋滞がひどい場合、余裕時間をとって輸送しても航空便に間に合わない事態も発生していました。いちごは出荷日が遅れると販売価格の低下に影響します。
- ・博多バイパスの整備により、空港までスムーズに通行出来ており、時間が読みやすくなったおかげで、到着遅れの心配が大幅に軽減されました。

(農産物貿易事業者ヒアリングR4.10)

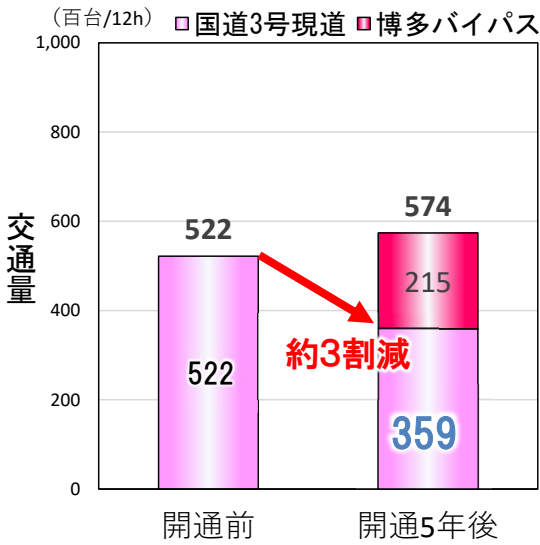
▲ 利用者の声



# 国道3号現道と博多バイパスの交通状況

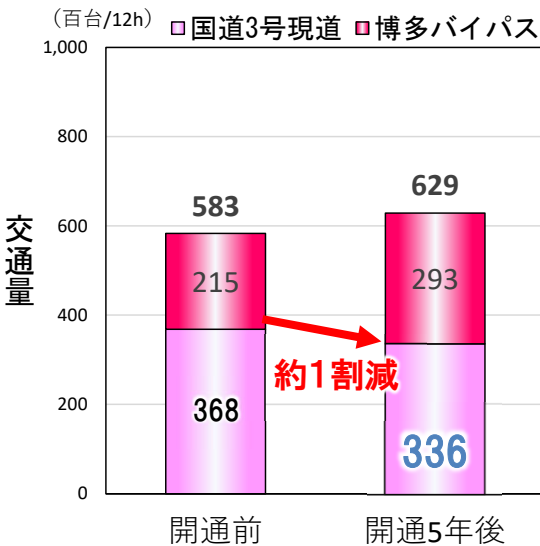
断面①

約3割減少



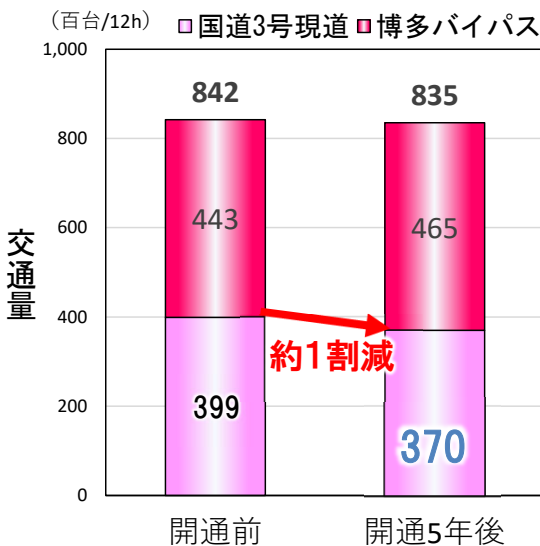
断面②

約1割減少



断面③

約1割減少



データ: 交通量調査結果  
(開通前: H30.3.6(火) 開通5年後: R4.10.5(水))